

外国語教育メディア学会 (LET)

関西支部 2024 年度春季研究大会

発表要項集



日 時： 2024 年 5 月 25 日 (土) 10:15 ~ 17:20

場 所： 甲南女子大学 9号館
〒658-000 兵庫県神戸市東灘区森北町6丁目2-23
<https://www.konan-wu.ac.jp/access/>

主 催： 外国語教育メディア学会 (LET) 関西支部
<https://let-kansai.org/w/>

事務局： 外国語教育メディア学会 (LET) 関西支部事務局
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学外国語学部 田村 祐 研究室
E-mail: kansaiet@gmail.com

プログラム

- 9:45-15:00 受付■ 甲南女子大学9号館2階
- 10:15-16:00 賛助会員展示■ 9号館2階 学生ホール
- 10:15-10:30 開会行事■ 921 教室 (ハイブリッド形式・オンライン参加可)
司会◆ 大和 知史 (副支部長・関西大学)
挨拶◆ 名部井 敏代 (支部長・関西大学)
- 10:30-11:50 ワークショップ1■ 943 教室 (オンライン形式)
メタバース教材の使い方と作り方
講師◆ 渡邊 ゆきこ (沖縄大学)
司会◆ 神谷 健一 (大阪工業大学)
- ワークショップ2■ 921 教室
Try Out 活動の実践例から授業プランを考える—八尾市立高安中学校のケース—
講師◆ 太田 洋 (東京家政大学)
神白 哲史 (専修大学)
劉 崇治 (八尾市立高安小中学校)
司会◆ 近藤 睦美 (甲南女子大学)
- 12:00-13:00 昼食
- 13:00-13:20 総会■ 921 教室
- 13:30-15:20 Classroom Tips ① 13:30 - 14:00 ② 14:10 - 14:40 (14:10 - 14:25 / 14:25 -14:40)
③ 14:50 - 15:20 (14:50 - 15:05 / 15:05 -15:20)
- 第1室 (Classroom Tips) ■ 921 教室
司会◆ 金丸 敏幸 (京都大学)
- ① [CT] 生成 AI を利用した英会話教材の作成
東 淳一 (Society for Advanced Global Education, LLC)
- ② [CT] 無料版生成 AI を教材作成に活用する方法
谷野 圭亮 (大阪公立大学工業高等専門学校)
[CT] 画像生成 AI で、楽しみながら英語の前置・後置修飾を学ぶ
真島 由朱 (大阪府立桜塚高等学校)
- ③ [CT] キャンパス探検を通してトピックを深く学ぼう!
板垣 静香 (立命館大学)

第2室 (Classroom Tips) ■ 942 教室

司会◆ 濱田 真由 (神戸大学)

- ① [CT] Can't We Foster Communication Competence Through Teaching for University Entrance Exams?

IZUMITANI, Tadashi (Kindai University Senior & Junior High School)

KITABATAKE, Kenji (Kindai University Senior & Junior High School)

- ② [CT] 多機能クラウドツール Notion をベースに手書きとタイピングを組み合わせた英作文指導

奥住 桂 (埼玉大学)

- ③ [CT] Engaging English Learners: The Kahoot Advantage in Language Education
SUN, Amelie (Kansai University)

[CT] 外国語教育における英文整序練習アプリケーション

中田 葉月 (甲南女子大学)

谷野 圭亮 (大阪公立大学工業高等専門学校)

15:20-15:40

休憩 (意見交換会および賛助会員展示)

15:40-17:10

基調講演■ 921 教室 (ハイブリット形式・オンライン参加可)

21 世紀型スキルを伸ばすディープでアクティブな技能統合型授業

司会◆ 布施 邦子 (大阪公立大学)

講師◆ 金澤 佑 (大阪大学)

17:10-17:20

閉会行事■ 921 教室

司会◆ 大和 知史 (副支部長・関西大学)

挨拶◆ 今井 由美子 (副支部長・同志社女子大学)

17:30-

懇親会■ trattoria 漣

司会◆ 山岡 浩一 (姫路獨協大学)

挨拶◆ 名部井 敏代 (支部長・関西大学)

お知らせ

- 参加者は必ず以下の URL から Peatix にアクセスし、事前に参加申し込みをしてください。
<https://let-kansai-2024-spring.peatix.com>
- オンライン参加者には、前日までに Zoom のリンクを送信いたします。
- 会場は、[甲南女子大学](#) 9 号館 2F です。最寄り駅は阪急岡本駅、JR 摂津本山駅、JR 甲南山手駅の 3 駅となります。
- 対面での参加者は、受付にて必ずネームホルダーと Wi-Fi アクセス情報をお受け取りください。
- 当日学内のファミリーマート（10 号館 2 階）が 10:00~13:00 の間営業していますが混雑が予想されます。昼食等をご持参いただくことをおすすめします。
- キャンパス内は全面禁煙です。
- 発熱等、体調のすぐれない方は来場をご遠慮いただきますようお願いいたします。
- 懇親会は、trattoria 漣 (<https://trattoria-len.com>) にて開催いたします（先着 35 名、5 月 20 日（月）締め切り）。[参加申込フォーム](#)より申込のうえ当日受付にて参加費（一般・学生 4,500 円）をお支払いください。

学会参加申込



懇親会申込



会場への交通案内・会場案内図

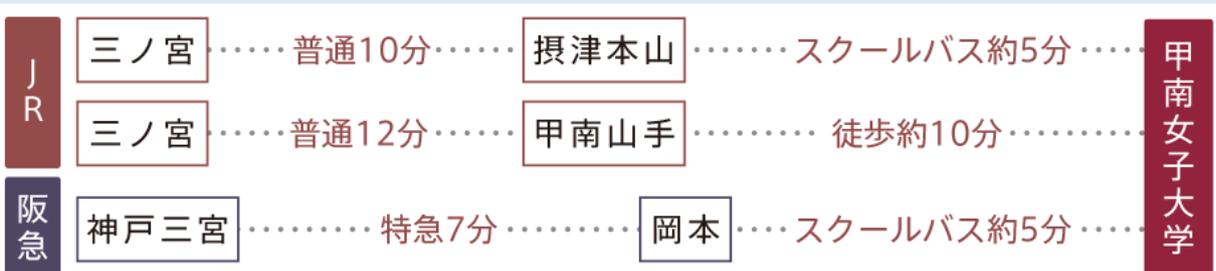
学内には駐車スペースがありませんので、必ず公共交通機関をご利用ください。

● 大阪から

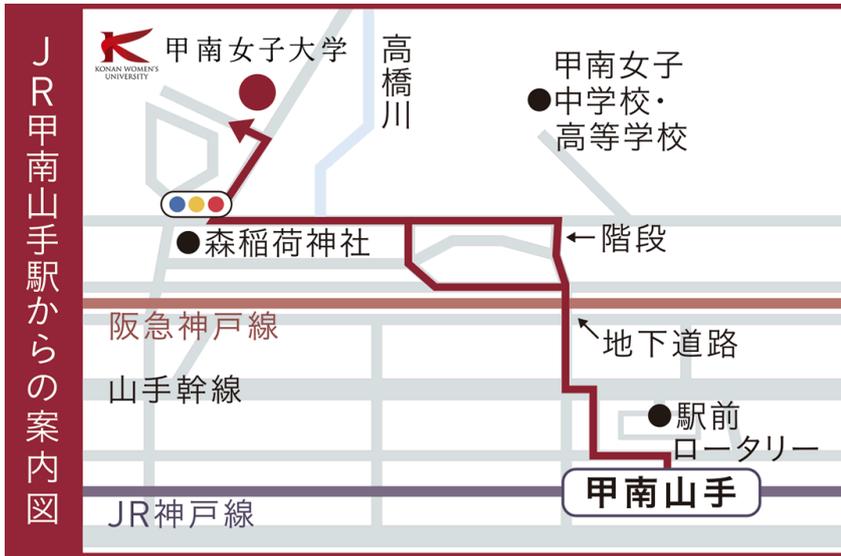


甲南女子大学

● 神戸から



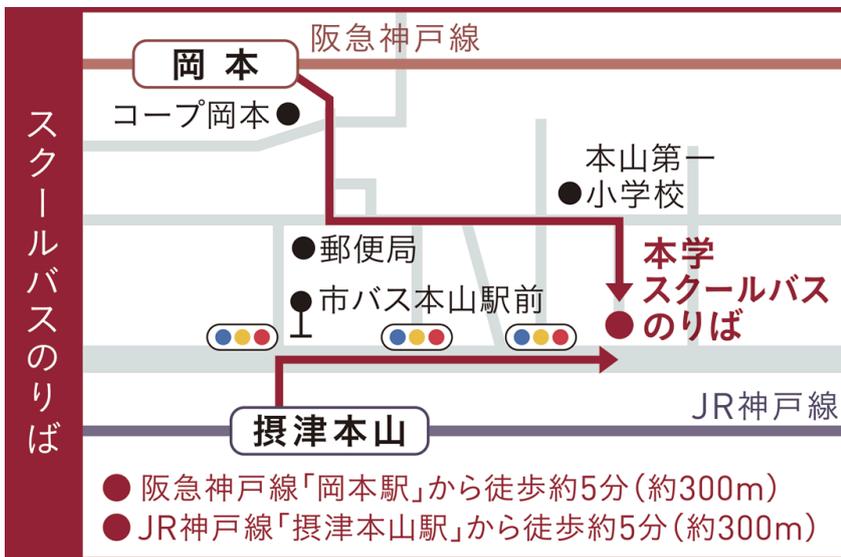
甲南女子大学



【徒歩の場合】

駅(JR 甲南山手)から大学までの上りは途中に急な坂道や階段があります。

上りは約15分、下りは約10分。



【スクールバスご利用の場合】

スクールバス乗車時は、提示するもの等はありませんので、学生や教職員と同様にご利用ください。

5月25日(土)のスクールバス時刻表

時間	本山スクールバスのりば発	時間	大学発
8	30 45	8	
9	10	9	0 30
10	0 40	10	30
11	40	11	30
12	40	12	30
13	0	13	10 30
14		14	
15	20	15	0 10
16		16	0 30
17		17	30

○印は臨時便のため、変更の可能性があります。変更がある場合は学会HP等でお知らせいたします。

語学教育現場を 6つのアプローチで サポートします！

このような課題を抱えていませんか

- ・学生が授業時間外に勉強をしない...
- ・ネイティブの先生も使える教材が欲しい...
- ・予算がない...
- ・TOEIC®テスト、TOEFL®テスト対策をしたい...
- ・学生の英語力の差が激しい...
- ・CEFR 準拠の教材が欲しい...

私たちアルクは、長年培った経験や実績を生かし
英語教育の現場で奮闘する先生方を応援します。



2.アルクのeラーニングシステム

ALC NetAcademy NEXT

延べ100万人以上が受講した ALC NetAcademy シリーズの最新版
シリーズ導入教育機関数 延べ約620校
企業数 延べ約480社

- 特徴**
- 分かりやすいレベル設定
 - モバイル対応でどこでも学習
 - 学習の進捗が一目瞭然
 - 6技能を習得、テストで定着度を確認
 - アルクのコンテンツが学習素材

全12コース

- 総合英語トレーニング 初級コース
- 総合英語トレーニング 中級コース
- 総合英語トレーニング 上級コース
- TOEIC®L&R テスト突破コース (500点・600点・730点)
- TOEFL ITP® テスト攻略コース
- 基礎からの英文法トレーニングコース
- 医学・医療英語コース
- PowerWords Hybrid コース
- 英単語パワーアップコース (TOEIC®テスト、TOEFL®テスト、理工、医学・医療)

1.書籍・教材開発

- 書籍: 累計490万部を突破した「キクタン」シリーズをはじめ、TOEIC®テスト・TOEFL®テスト対策書籍から専門英語書籍まで充実のラインナップ
- 通信講座: 「ヒアリングマラソン」は延べ120万人以上が受講

3.研修・授業

教育機関の学生や教職員、企業・団体の学習者を対象に英語コミュニケーション方向上プログラムを提供

- FD研修
- SD研修
- 自己学習法
- TOEIC®対策
- TOEFL®対策
- コミュニケーション
- ディスカッション
- 異文化コミュニケーション
- ビジネス
- 留学前研修 (他多数)

4.電話によるスピーキングテスト

TSST=英語スピーキングテスト
年間約1万人が受験

5.英語学習アドバイザー

ESAC®(イーザップ)
=English Study Advisors' Certificate
学習者の自律学習をバックアップ

6.デジタルコンテンツ

- アルクオンライン英会話
- アルクオンライン日本語スクール
- 英辞郎 on the WEB Pro
- 各種アプリケーション

アルクはグローバル人材育成の総合ソリューションパートナーです

語学専門出版社としての強みを活かした「コンテンツ開発力」と
「豊富な導入実績」を基に、最適なお提案をいたします



メタバース教材の使い方と作り方

渡邊ゆきこ（沖縄大学）

飲食店での接客練習を飲食店の店内そっくりの環境で行う。上下左右前後を向くと、それぞれの方向を示す音声の流れ、体感と音声を結び付けて単語を覚える。1時間後の世界にワープして、1時間の間に起こった変化を言葉で表現させる等など。現実の教室では不可能でも、メタバースを使えば簡単に実現できる学習環境です。今回のワークショップでは、まずメタバースを活用した外国語授業の可能性について、中国語を例にその概要を知っていただき、その後簡単なシーン作成を体験していただきます。

授業内容に合わせてバーチャルシーンを作成・編集するには編集ソフトが必要です。これまで操作の容易な専用編集ソフト・Spokeを備えたソーシャルVRプラットフォーム・Mozilla Hubsを使ってきましたが、残念ながら今年5月31日でサービスを終了します。今回のワークショップではMozilla HubsをベースにNTTコノキューが構築し、無料でホスティングを行っている「DOOR」を使い、簡単な編集作業を体験していただきます。また、DOORの操作方法や編集機能はMozilla Hubsとほとんど変わりませんが、Mozilla Hubsにはない独自の機能も備えています。Mozilla Hubsと比較しながら、DOORの独自性についてもご紹介します。

DOORで編集作業を行うため、事前に以下の準備をお願いします。

- ① 事前にDOOR (<https://door.ntt/>) にメールアドレスの登録をしてください。編集後のシーンの保存や編集のためのファイルをアップロードするにはメールアドレスとの紐づけが必要です。
- ② 当日はメモリ8GB以上のパソコンとホイールの付いたマウスをご用意ください。
- ③ PCはできるだけWindowsマシンをご用意ください。Macは操作方法が少々異なります。

Try Out 活動の実践例から授業プランを考える

—八尾市立高安中学校のケース—

太田洋（東京家政大学） 神白哲史（専修大学） 劉崇治（八尾市立高安小中学校）

Try Out 活動とは「生徒が自分で文をつくり、言いたいことを表現してみる活動」のことです（詳細は『英語教育』2021年7月号、2023年8月号～11月号を参照のこと）。下記、学習指導要領の改訂内容と方向性を同じくすると考えられるこの活動を通じて、「話すこと」を中学校での授業でどのように取り扱い、生徒たちにどのような力を身につけてもらうか、を中学校の英語教育に係わる人々と太田・神白は行ってきています。

「話すこと」に関しては、「やり取り」と「発表」という焦点が異なる領域に分けて提示されていることに注意が必要である。これまでの英語の授業では、とかく「発表」形式の活動が強調されがちであったが、そういった中でここに「やり取り」という領域が追加された意義は大きい。それに鑑み、英語の授業でも、いかに豊かなやり取りを通して言葉の学習を促し、それを発表でできるだけの力へと育てていけるかを模索していかなければならない。やり取りから発表へ、また時には発表からやり取りへと交互に繰り返す柔軟な指導計画の立案が求められる。

やり取りの際には、最初から流暢かつ正確な言葉遣いで応答ができることを求めるべきではない。実際の指導の際には、いつも十分な準備をしてから発表するといった一定の型にこだわり過ぎずに、即興的なやり取りの機会を十分に確保していくことが望まれる。

（文部科学省，2017，p.83）

今回は、八尾市立高安小中学校の劉（ゆう）教諭による Try Out 活動の実践例をお示しした上で、参加者の皆さんと実際の授業への取り入れ方や、期待される効果などを相談する機会にできればと考えています。

参考文献

神白哲史・太田洋（2021）。「Try Out 活動による「定着」に向かうための文法指導」『英語教育』大修館 7月号，8-9。

文部科学省（2017）。「『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編』」https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_010.pdf

太田洋・神白哲史（2023）。「既習事項の定着につなげる Try Out 活動のすすめ 第一回 Try Out Project とは？」『英語教育』大修館 8月号，44-45。

太田洋・神白哲史（2023）。「既習事項の定着につなげる Try Out 活動のすすめ 第二回 Try Out 活動をやってみたらこうなった①—山形県・真室川中学校での実践例」『英語教育』大修館 9月号，44-45。

太田洋・神白哲史（2023）。「既習事項の定着につなげる Try Out 活動のすすめ 第三回 Try Out 活動をやってみたらこうなった②—大阪府・高安小中学校での実践例」『英語教育』大修館 10月号，42-43。

太田洋・神白哲史（2023）。「既習事項の定着につなげる Try Out 活動のすすめ 第四回 Try Out Project 2022年度のまとめ—1年間を終えて」『英語教育』大修館 11月号，30-31。

生成 AI を利用した英会話教材の作成

Creating English Conversation Material Using AI

東 淳一 (Society for Advanced Global Education, LLC)
Azuma, Junichi (Society for Advanced Global Education, LLC)

キーワード：生成 AI, 英会話教材, TTS 合成音声

生成 AI はストーリーだけではなく特定シーンでの会話や特定の目的をもった会話のテキストも生成できる。しかも会話のテキストに加えて、いわゆる「ト書き」もカッコ付、あるいはイタリクス体で追記してくれる。もしも会話のモデル音声が必要であれば、TTS 合成音声を利用すればよい。本発表では生成 AI と TTS 音声合成ツールを利用し、ほとんど無料で教員のニーズに応じた英会話教材を作成する方法を紹介し、情報共有したい。

無料版生成 AI を教材作成に活用する方法

Leveraging Generative AI (Free Version) for Teaching Material Creation

谷野 圭亮 (大阪公立大学工業高等専門学校)

Tanino, Keisuke (Osaka Metropolitan University College of Technology)

キーワード: ICT, 授業支援ツール, 生成 AI

本発表は日本の中学校や高校での教育現場における課題を解決するための教材作成ツールを提案するものである。これまで、教師が学校の予算(校費)でクレジットカード決済を用いて AI サービスへの課金を行うことは様々な意味合いで困難であり、GPT4 や Gemini Pro のようなサービスを利用して、効率よく質の高い教材を作成することへの障壁となっていた。この問題に対処するため、無料バージョンの生成 AI (Google Gemini、ChatGPT3.5、Microsoft Copilot など) を活用し、課金バージョンレベルの結果を出力するプロンプト作成シートを開発した。

特に注目すべき点は、Google Spread Sheet を用いて学年やトピックなどの変数を簡単に調整できるようにしたことである。これまでプロンプトの調整には多大な労力が必要だったが、このツールにより効率的かつ実用的なプロンプトの生成が瞬時に可能となった。

本ツールにて作成したプロンプトは、言語材料としての英語長文から読解問題の作成、語彙リストやそのリストに基づく例文の生成、さらには小テスト作成までを一度の入力で行うことが可能である。これにより、教師は授業準備の時間を大幅に削減し、より質の高い教材を迅速に提供できるようになる。

画像生成 AI で、楽しみながら英語の前置・後置修飾を学ぶ

Learning English pre- and postmodifiers while having fun with image-generating AI

真島 由朱 (大阪府立桜塚高等学校)

キーワード : ICT, 生成 AI, Canva for Education

オンラインで使える無料グラフィックデザインツール"Canva for Education"内の画像生成 AI アプリ DALL-E/マジック変換を使い、英語の前置修飾・後置修飾を学ぶ活動を行った。既習である前置修飾・後置修飾のルールを再確認しながら、英語でプロンプトを書き、画像作成に挑戦した。Canva Whiteboard にクラス生徒の作品を集め共有することで、多数の作品を一挙に確認することができる。

キャンパス探検を通してトピックを深く学ぼう！

To the Classroom and Beyond

板垣 静香 (立命館大学)

Itagaki, Shizuka (Ritsumeikan University)

キーワード：アクティブラーニング，協働学習，PBL

グループ学習を主とした英語授業を通して、トピックと自分の大学、両方の知識を深める。まずトピック事前学習（例：Universal Design）→トピックに関する事象を学内で探す（例：音声付エレベーター、拡大読書器）→事後学習と発表準備→発表。Reading、Discussion、Writing、Presentation等の活動を通じて英語力と思考力を伸ばし、クラスメートとも仲良くなれる授業である。

Can't We Foster Communication Competence Through Teaching for University Entrance Exams?

大学受験に向けた指導を通してコミュニケーション能力を育成することはできないのか。

Izumitani, Tadashi (Kindai University Senior & Junior High School)

Kitabatake, Kenji (Kindai University Senior & Junior High School)

Keywords: university entrance exam, communication competence, LMS

In English education of Japan, an orientation has been shifted for fostering communication competence, and, on the other hand, studying for university entrance exams, which is mainly based on reading and writing, tends to be seen as an unfavorable way of learning English: sometimes blamed for “non-communicative”. However, is trying to correctly read what authors write and to accurately write what we want to tell non-communicative? In this session, we would like to share classroom tips which are aimed for fostering skills for university entrance exams as well as communication competence: small talk with online video materials and LMS-based learning.

多機能クラウドツール Notion をベースに 手書きとタイピングを組み合わせた英作文指導

English Composition Instruction Combining Handwriting and Typing
Based on the Multifunctional Cloud Tool Notion

奥住 桂 (埼玉大学)
Okuzumi, Kei (Saitama University)

キーワード: Notion, 添削・翻訳ツール, 生成 AI

無料で使用できるオンラインの添削・翻訳ツールや生成 AI などの登場により、個人で英語を書くことのハードルは下がる一方、自力で書ける英文の質を向上させる指導が広く共有されているとは言えない。本発表では、クラウドツールである Notion 上に、手書きとタイピングで書かれた英作文を蓄積しながら様々なツールを活用しながら学生自身の手で英作文の質を向上させていくライティング指導の実践例に基づき皆さんと情報共有したい。

Engaging English Learners: The Kahoot Advantage in Language Education

魅力的な英語学習 : 言語教育における Kahoot の利点

Sun, Amelie (Kansai University, Graduate student)

Keywords: student engagement, Game-based learning, Kahoot

This presentation explores the integration of Kahoot, a game-based learning platform, as a transformative tool for English language instruction. By leveraging interactive quizzes, discussions, and competitions, Kahoot enhances student engagement, language acquisition, and comprehension in diverse classroom settings. Practical strategies for incorporating Kahoot into English language teaching will be discussed, highlighting its potential to create immersive learning experiences and foster collaborative environments.

In classroom application, Kahoot serves as an engaging quiz tool to assess students' vocabulary acquisition and reading comprehension skills. It can also function as an anonymous survey, swiftly collecting data that can be reviewed in the Reports section. While there are various uses of Kahoot, its most significant aspect is its ability to promptly engage students and foster active participation.

外国語教育における英文整序練習アプリケーション

Designing an English Word Order Exercise Application in Foreign Language Teaching

中田 葉月 (甲南女子大学)

谷野 圭亮 (大阪公立大学工業高等専門学校)

キーワード: 文構造への気づき, 文字の並べ替え, 授業支援ツール

小学校外国語科および外国語活動では、語順への気づきとその規則性の内在化が求められる。小学校では文法の明示的指導は行わないため、音声からの学習表現を元にした文構造の練習ができる「英語表現整序練習用アプリケーション」を開発した。本アプリケーションはインストールすることなく、Windows PC上で、教師が既習表現を入力すると即時に演習可能で、無償でダウンロードして使用できる。本発表ではその使用例を共有する。

21 世紀型スキルを伸ばすディープでアクティブな技能統合型授業

金澤 佑 (大阪大学)

日本のような EFL 環境において特に重要な技能の一つであるリーディングの授業は、他技能に比べると教師による解説を中心とした講義形式で行われがちです。一方で、受動的で知識蓄積型の学びからの脱却と主体的・創造的な学びの実現の重要性が、高等教育においてもますます認識されています。VUCA 時代の要請に見合った、〈外的活動における能動性〉のみでなく、〈内的活動における能動性〉も重視したディープでアクティブな学習 (松下・京都大学高等教育研究開発推進センター (編著), 2021) を促す読解活動は、どのようにして実現できるのでしょうか。

アプローチの一つとして、対話的で深い学習を促すリーディングサークル (RC) が挙げられます。RC では、ワークシートを活用した構造化された小グループディスカッションを通じて、マテリアルの諸側面について学習者が複眼的に話し合います。それを実現するための RC の特徴は、グループ内の各学習者に明確な異なる役割 (ディスカッションリーダー、サマライザー、ワードマスターなど) が事前に割り当てられることです。RC は効果的な指導法として世界中で使用されています。一方で、オープンエンド型の議論に至るまでの理解確認過程では、各学習者が事前に準備したものをただグループ内で共有するだけの退屈な作業になる可能性があり、対話の質や学習者のエンゲージメントを下げる危険性があることが指摘されています (Kanazawa, 2023)。

この問題を克服するために、RC の進化版としてチャレンジャーズ・リーディングサークル (CRC) が考案されました。CRC のユニークな点は、各役割 (Wicked Summarizer, Language Master, Knowledge Connector, Discussion Leader) の準備が、マテリアルの特定の側面についての報告だけでなく、他のグループメンバーに知的に挑戦する質問を含むことです。知識共有の LOTS パートから、TOT 現象や Aha 体験を誘発するチャレンジングな Q&A セッションに転換することで、LOTS パートはよりエンゲージングで魅力的、情動関与的なものとなり (金澤 (編著), 2020)、学習者はより自然に HOTS ディスカッションに向けての適切な準備へといざなわれます。小グループでの役割分担による知識共有に基づいた RC から一歩進み、CRC では競争によるゲーム性や相互評価、エピステミック情動を伴う想起を組み込むことで (Kanazawa, 2024)、受動的な理解確認過程を、創造性や批判的思考などの 21 世紀型スキルを養う能動的な活動へと深化させます。さらに、P4ELT (英語教育のための哲学対話; 金澤, 2021) の理念や手法を用いた大グループ活動への発展により、真正性やケア的思考が涵養されることが期待されます。

金澤佑 (編著). (2020). 『フォーミュラと外国語学習・教育：定型表現研究入門』. くろしお出版.

金澤佑. (2021). 「弁証法的サイレントダイアログ (Dialectical Silent Dialogue) を用いた P4C の大学英語教育への応用の試み」『日本哲学プラクティス学会第 3 回大会要綱集』(pp. 12-13). 日本哲学プラクティス学会. <https://researchmap.jp/you-kanazawa/P4ELT>

Kanazawa, Y. (2023, May 13). *Challenger's Reading Circle: A deep active learning activity that fosters 21st century skills* [Paper presentation]. NATESOL Annual Conference 2023, United Kingdom. <https://researchmap.jp/you-kanazawa/CRC>

Kanazawa, Y. (2024). The free energy principle and its implications to language learning and education. *Memoirs of the Graduate School of Humanities, Osaka University, 1*, 135-157.

松下佳代・京都大学高等教育研究開発推進センター (編著). (2021). 『ディープ・アクティブラーニング：大学授業を深化させるために』. 勁草書房.

※本講演の関連資料：<https://researchmap.jp/you-kanazawa/keynote2024-05>

